

図書教材新報

Books
teaching
materials
magazine

Vol.234

今月の特集

- ①教材活用シリーズ 美術資料集のデジタル化
「一人一台端末時代」の教育コンテンツ（P. 6～7）
- ②都道府県協会の総会をふり返って（P. 10～12）

図書教材新報
Books teaching materials magazine

2024.10.25 Vol.234 (total 1863号)
1956年1月5日 創刊 毎月25日発行

定期考査の問題づくり

第37期学校教材調査会理科専門委員
東京学芸大学先端教育人材育成推進機構教授

宮内 卓也

中学校に勤務していた頃、定期考査の問題づくりは重要な仕事のひとつであった。生徒の学習の成果を見取することは、同時に自分の指導の成果と課題を認識することにもつながるからである。

観点別評価の導入などを契機に、学校現場では多様な評価方法が知られるようになった。定期考査のようなペーパーテストは評価方法のひとつとして古くから実践されているが、依然として大きな位置を占めている。

ペーパーテストは、ともすれば事実的な知識の評価に偏りがちになるという指摘もよく耳にするところであるが、問題作成を工夫することで、児童・生徒の学習成果を広く捉えることができるのではないかと。

問題づくりについて、評価という視点からは、授業のねらいとの関連がはかられていること、児童・生徒の力を見取ることができる問題であること、児童・生徒の解答を具体的に想定できること

など、また、構成という視点からは、小問の構成が適切であること、解答するために必要な要素が示されていること、児童・生徒が理解できる問題文であることなど、大切なことは多々挙げられる。編集会議などで問題検討の場面に遭遇すると、参加した先生方の議論は尽きず、問題づくりの奥深さを改めて実感する場となっている。その一方で、教員が問題づくりについて深く学んだり協議したりする場合は意外に少ないのではないかと。

学校用教材は各社の創意工夫のもと、児童・生徒のために提供されているが、そこに凝縮されているさまざまな要素は、若い教員の問題づくりになんか影響を与えているのはまちがいない。コピペは慎まなければならぬが、良問との出会いは問題づくりの資質・能力を磨く契機となる。

今後児童・生徒のために、そして若い先生方のためにも、学校用教材がますます充実することを期待したい。



【日】第108回通常総会開催

新年度事業計画・予算案を決定
新年度役員を選任

一般社団法人日本図書教材協会(辻村哲夫会長)では、9月25日に東京都・文京区の「東京ガーデンパレス」とオンラインで通常総会を開いた。新年度の事業計画・予算案を策定した。



日本図書教材協会 総会

総会では、23年度第2期の事業・決算報告と24年度の事業計画・予算案が承認された。また、下表の通り役員の改選を行った。また、新年度事業としては、教科書著作権協会とのルール改定周知、ICT活用に対応した学校用

一般社団法人日本図書教材協会
2024～2025年度役員名簿

(敬称略)

役名	氏名	摘要
会長 (代表理事)	辻村 哲夫	元文部省初等中等教育局長
副会長 (理事)	二宮 皓	広島大学名誉教授 ○
〃	森 達也	株式会社教育同人社代表取締役社長
専務理事	渡部 竜士	事務局長 ○
理事	堀田 龍也	東京学芸大学教職大学院教授 ・学長特別補佐
〃	児玉 紳	株式会社学宝社代表取締役社長 ○
〃	佐々木秀樹	株式会社秀学社代表取締役社長 ○
〃	藤田 毅志	株式会社新学社取締役副社長
〃	星沢 卓也	東京法令出版株式会社代表取締役社長 ○
監事	清水 美憲	筑波大学人間系教授 ○
〃	浜島 拓央	株式会社浜島書店代表取締役社長 ○

※「○」は新任

教材の課題研究、学校用教材の著作権に関する活動、学校教材調査会(小学校)の実施、広報活動の充実、学校用教材の採用促進について推進していくことを確認した。

○小・中学部会、出版社代表者会議も開催

総会前に、新年度第1回小・中学部会、出版社代表者会議を開き、日図協役員体制について意見交換した。なお、小・中学部会の正副部長を次の通り選出した。

【小学部会】

部会長…金井肇正進社社長
副部会長…河野晋三日本標準社社長

【中学部会】

部会長…星沢卓也東京法令出版社社長
副部会長…児玉紳学宝社社長
藤田毅志新学社副社長
金井肇正進社社長

【全】通常総会、理事会、協会長会議等を開催

**役員改選、学校用教材の採用促進のための活動など
2024年度の主な事業として9項目を承認**

一般社団法人全国図書教材協議会（細谷美明会長）では、オンラインを併用して「東京ガーデンパレス」で、9月24日に運営委員会、幹事会、出版社代表者会議、理事会、第18回通常総会を、翌25日に協会長会議を開き、2023年度の事業を総括するとともに、2024年度の活動方針を決定した。

○事業・決算報告

2023年度は教師向けセミナー事業の開催（近畿ブロック1件、鹿児島県協会1件）、



全国図書教材協議会 総会

教材士研修制度・基礎コース講座の運用、会員向け説明会（インボイス制度、電子帳簿保存法、学習eポータルなどの文科省の取組）、販売管理システム「全販システム」の開発と運用、対外宣伝活動（文科省「こども震が関見学デー」でのポスター展示による協会の紹介及びWeb配信での校正体験、PTA団体との連携等）、ブロック小・中学部会長会議の取り組み（教育現場のICT化への対応、自治体へ働きかけていくための宣伝物の作成、自治体等による教師用書の取り扱いに関する情報共有等）、販売店向け各種制度（生命共済、総合補償、福利厚生）の実施、各ブロック及び協会事業への協力等が主な活動となり、そのほかの事業も計画通り進められた。

○能登半島地震に関する支援

能登半島地震に関する支援活動として、販売店、出版社からの見舞金の送付や出版社による減価教材の無償提供、全国災害復興支援制度の

小学校向け No.1

光文書院のデジタル教材

※小学校用図書教材の直販メーカーにおける2024年度有料販売実績（2024年10月時点）

子どもが選び、自ら学べる
デジタルドリル

ドリルプラネット

国・算

圧倒的精度！
漢字判定機能を搭載
計算過程もしっかり採点！

字形や筆順以外も判定！

理解度をたしかめられる
「つまずきたしかめ」デジタルプリント

CBTタワー

国算・理・社・英

こんな教材はじめて！
丁寧でわかりやすい
全問解説つき
楽しく学習できる仕掛けも満載！

理解が深まる！

光文書院

〒102-0076 東京都千代田区五番町 14
TEL. 03-3262-3271(代表)
ホームページ <https://www.kobun.co.jp/>

各教材の詳細は公式サイトでチェック！

Q ドリルプラネット Q CBTタワー

※本広告に掲載の内容は2024年度のもので、変更する場合があります。

認定等の報告があった。

また、石川県協会・石野一樹会長より、全図協及び出版社からの支援へのお礼と被災地の現状報告があった。

○事業計画・予算

2024年度は、前年度の事業計画を踏襲しつつ、主な事業として次の9項目を推進していくことを承認した。

- ① 会員並びに従業員の知識及び質的向上のための研究と研修
- ② 教育のICT化に対応して協会として取り組むべき課題の整理と対策
- ③ 学校用教材の採用促進のための活動
- ④ PTA団体との連携
- ⑤ 会員販売店向け販売管理システム「全販システム」の運用と改善、加入促進
- ⑥ 学校用教材のインターネット等を経由した転売行為への対策
- ⑦ 教師等を対象としたセミナーやイベントの開催への支援
- ⑧ 日本教材学会との連携と、活動への積極的な参加
- ⑨ 小・中学業界の諸課題の協議を踏まえた各種取り組みの推進

○役員改選

全図協発足から8期目を迎え、全図協役員の改選を行った(5ページ参照)。

◇幹事会

ブロック代表者で構成する幹事会では、各事

業の進捗状況の確認のほか、ブロック助成金の分配の承認、協会長会議の運営方針の検討、文科省からの事務連絡「学校とのFAXでのやり取りの慣行の見直しについて」を受けた協会としての対応について協議した。

◇第3回理事会

2023年度第3回理事会では、総会決議事項のほか、前承認のほか、次回理事会等のスケジュールについて承認した。

◇運営委員会

運営委員会では、総会の進行や担当理事からの主な事業の報告内容について確認した。

◇協会長会議

今年度は各協会役員改選の年となり、多くの協会長が交替したこ



協会長会議(全体会)



理事会

2025年度 中学3年生用

新学社の進学教材

最新入試問題を出題!

新研究シリーズ

進学教材の決定版!



スタディプロジェクト

豊富なラインアップで個別最適な学びに対応!



中学セミナー

学習習慣作りから実力アップ。1日1枚で中学3年間の学習を完全フォロー。

問題・解説が1対1で対応! 自学自習に最適!



充実のデジタルサポートツール



スケジュール作成・管理



リモート提出



デジタル暗記ブック暗記カード



単元別・習熟度別デジタルドリル



動画解説

※新研究・スタプロのみ

一般社団法人全国図書教材協議会
2024～2025年度役員名簿

(敬称略)

役職	氏名	摘要
会長 (代表理事)	細谷 美明	元全日本中学校長会会長
副会長 (代表理事)	川上 忠男	東海ブロック(静岡県協会会長)
〃	金井 肇	株式会社正進社代表取締役社長
専務理事 (理事)	渡部 竜士	兼事務局長
常任理事 (理事)	狩野 正樹	北関東ブロック(群馬県協会会長)
〃	向畑 勇一	近畿ブロック(大阪府小学協会会長)
〃	中井 寛	九州ブロック(長崎県協会会長)
〃	池上 佳嗣	株式会社五ツ木書房代表取締役社長
〃	則岡 秀卓	株式会社図書文化社代表取締役社長
〃	河野 晋三	株式会社日本標準代表取締役社長
理事	山城 晋一	北海道ブロック(北海道協会会長)
〃	其田 繁	東北ブロック(青森県協会会長)
〃	依田 誠	南関東ブロック(東京都中学協会会長)
〃	清沢 伸之	北信越ブロック(富山県協会会長)
〃	松岡 幹	中国ブロック(岡山県協会会長)
〃	井上 哲也	四国ブロック(徳島県協会会長)
〃	村上 洋平	青葉出版株式会社代表取締役社長
〃	児玉 紳	株式会社学宝社代表取締役社長
〃	森 達也	株式会社教育同人社代表取締役社長
〃	長谷川知彦	株式会社光文書院代表取締役社長
〃	佐々木秀樹	株式会社秀学社代表取締役社長
〃	藤田 毅志	株式会社新学社取締役副社長
〃	星沢 卓也	東京法令出版株式会社代表取締役社長
〃	浜島 拓央	株式会社浜島書店代表取締役社長
監事	宮台賢一郎	神奈川県中学図書教材協会会長
〃	水谷 泰三	株式会社文溪堂代表取締役社長

とから、「教材の採択促進に向けた取り組み」や「働きかけ」をテーマに分科会を開催したほか、事務局より全国協議会・運営・事業、自主基準や災害時の協会長の役割について説明があった。



協会長会議(分科会)

10月8日
中学校営業部長会を開催
中学校営業部長会(幹事長・辻田吉平秀学社営業統括部長)では、2024年度第1回部長会を「協会会議室」で開いた。
当日は、各都道府県協会総会の報告やみらいの学びプロジェクト(各ブロックとの意見交換会、全中目安箱)、ブロック中学部会への要望事項、

学校用教材の採用促進のため、災害時の減失教材の対応に関する部長会内規案等について協議した。
*
*
*



中学校営業部長会

教材活用シリーズ 第173回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

美術資料集のデジタル化 「一人一台端末時代」の教育コンテンツ

(株)秀学社
『デジタル版 美術資料』



よこた まなぶ
横田 学
(京都市立芸術大学名誉教授)

これまでに、京都市立芸術大学教員(2002～2020年)、京都府立学校教諭、京都府教育庁指導部学校教育課指導主事、高等学校学習指導要領解説作成協力者(文部科学省)、評価規準研究開発協力者(国立教育施策研究所)、中央教育審議会教育課程部会芸術ワーキンググループ委員などに携わる。



▲鉛筆で描くTop画面

1. はじめに

学校教育における各教科の指導では、教科書に加え多くの教科で副読本、解説書、資料集、学習帳、問題集等の補助教材が使用されている。特に美術科においては、例えば絵画の表現課題であっても学校や地域によって描く対象や画材、制作に使用する材料などはさまざまである。その課題を実施するにあたり、教科書は授業のねらい等を明示し授業の骨格となるが、その骨格に学校や地域の実態に応じた授業ができるような材料や用具、制作の手順や技法など具体的な肉付けを行う役割として美術資料集

の活用が有効となる。文部科学省の調査では、令和3年度の時点で全国の公立学校における教育用コンピュータ整備率は平均値で109.2%となり、GIGAスクール構想で目標とした一人一台を上回る端末の配備が達成されたと思われる。それに伴い、学習者用デジタル教科書整備率(中学校)も令和2年度の5.9%から、令和3年度41.5%、令和4年度99.8%へと一気に整備が進んでいる。

また、「デジタル教科書の今後の在り方等に関する検討会議(第一次報告)」（文部科学省2021年6月）に、「デジタル教材等との連

携の在り方」として「学習指導要領の内容で適切に構成されたデジタル教科書と、教科書の内容をより深めたり広げたりするためのデジタル教材を連携させて活用することは、児童生徒の学びの充実に資すると考えられる。」と示されているように、補助教材のデジタル化も求められている。

2. 美術資料集のデジタル化

前記のような状況のなか、書籍の『美術資料』をベースにデジタル版の教材の開発を2020年1月から開始した。

書籍の資料集のデジタル化に際し、先行研究などからタブレット活用の特質等について次のように整理した。

【メリット】












- ① 物理的なページ数からの開放
- ② 表示画面のピンチアウト操作による拡大表示
- ③ ポップアップ（別画面）で図版や写真などの拡大表示
- ④ 文章の読み上げ
- ⑤ 動画や音声の活用
- ⑥ コンテンツの表示や消去の切り替え
- ⑦ 画面への書き込み、書き込みの消去や表示の切り替え
- ⑧ 画面（ページ）間のリンク
- ⑨ 教材外部の情報とのリンク

【デメリット】

- ① 掲載図版（作品）のサイズ感など実感の欠如
- ② 表示色が使用する機種や個体差により異なる

これらのことをベースに、開発するデジタル教材に求められる具体的な機能について、各機能の使用が想定される場面及び学習の視点から検討を進め、下表「開発教材の機能」に示したように教材で実現している。なお、教材の開発プラットフォームは、既存のクラウド型マルチデバイス対応デジタルブック作成・公開システムを活用し、2022年4月にデジタル版『美術資料』としてリリースした。

なお、現時点では、「④文章の読み上げ」機能については活用していない。また、デメリット

機能	想定される活用場面や学習 / タブレット活用の特質との関係 ◎：教師の指導での活用、◇：生徒の活動	
 動画再生	◎導入時に一斉指導で電子黒板などで示す ◇タブレットPCなどで動画を細部まで確認 ◇制作途中などに、必要に応じて主体的に確認	⑤
 追加資料	◎まとめなどで学習を深める説明資料として活用 ◇共同鑑賞などグループワークでの学習を深める資料 ◇自由研究や発展的な学習、休業中の課題などの資料	① ② ③
 学びのしかけ	◎導入やまとめなど一斉指導で電子黒板などに示す ◇学習の復習や考査前の確認に活用 ◇自由研究や発展的な学習、休業中の課題などの資料	① ⑥
 大きさ比較	◇数字表記では実感しにくい作品の大きさを、身近なものと比較（500円硬貨、ペットボトル500ml、自動販売機）	⑥ ①
 ワークシート	◎授業のまとめや自宅学習の課題など ◇学習の復習や考査前の確認 ◇自由研究や発展的な学習、休業中の課題など	① ⑨
 360°ビュー	◎導入時に一斉指導で電子黒板などに説明資料として示し興味関心を促す	① ⑤
 外部リンク	◇自由研究や発展的な学習、休業中の課題などの資料に	⑨
 「ふせん」貼り付け	◎授業に必要なページに「ふせん」を貼らせ、授業の進行に応じて「ふせん」を貼ったページを目印にして指導 ◇気付いたことを「ふせん」に書き込み貼り付ける	⑥ ⑦
 「ふせん」一覧表示	◇「ふせん」に書き込んだことを集め、学習のまとめの資料にしたり、グループワークの材料にしたりする ◇色分け機能を使い「ふせん」を整理	⑦
 ペン書き込み	◎ポイントになる部分を指示しアンダーラインなどの目印を付加 ◇重要だと思ふ所を主体的に確認する手掛かりに活用 ◇目印を付けた所をまとめやグループワークの学習で活用	⑥ ⑦
 文章コピー	◇学習支援アプリのレポートなどにページ内の文字情報をコピー＆ペーストして活用	⑨

▲開発教材の機能

トの②の「色調の正確さ」に関しては書籍の『美術資料』と併用することで担保している。

2023年度からは、活用の教育効果及び開発の際には予想できなかった生徒の活動やトラブルなどを、実際に授業で活用している先生方を対象に情報収集している。それらへの対応とともに、生徒の興味関心や理解をより深めるインターフェースやコンテンツの工夫改善の視点なども徐々に明らかになりつつある。

3. おわりに

今後多くの先生方に、このデジタル教材を活用して頂くためには、教材の改善のみならず、教材を生徒の学びに繋げるための教授方法が必要不可欠となる。デジタル教材を活用した実践研究を進め、授業のなかで何時どのようにこの教材を活用するのか、具体的なアイデアやノウハウ等の情報を提供することが求められている。

都道府県協会総会報告【3】

〔①開催月日、②開催場所、③出版社(代表)と事務局などの出席者〕

※ 7～9月に開催された各都道府県協会の総会の様子を3回に分けて報告します。出席会員数は「都道府県協会の総会をふり返って(10～12ページ)」でまとめて報告します。

* * * * *

◆鹿児島県協会(八代和彦会長)

業界の諸課題について意見交換

①8月3日、②鹿児島市「サンプラザ天文館」、③東京法令出版・福岡隆昭九州支社長。教師用書の公費負担への対応や自主基準の在り方について意見交換。支部会の強化や従業員も含めた会員の研修を事業計画に。

◆岩手県協会(熊谷佐智夫会長)

業界の諸課題について協議、情報交換

①8月7日、②盛岡市「つなぎ温泉 ホテル紫苑」。小学校の評価教材の動向について情報交換。

◆宮崎県協会(森誠樹会長)

業界の諸課題について協議

①8月7日、②宮崎市「宮崎グリーンホテル」。

支部会活動の報告や図書教材の希望販売、キャッシュレス決済への対応等について協議。11月に予定している九州ブロック宮崎大会への協力を要請。

◆広島県協会(皿田弘美会長)

役員改選、新会長に箱田博司氏

①8月9日、②広島市「広島グランドインテリジェントホテル」、③教育同人社・徳重弘樹取締役。

会員や社員の研鑽並びに次世代を担う人材育成のための研修会の実施、見本回収の徹底、直販システムの堅持と理解などを事業計画に。役員改選を行い、新会長に箱田博司氏、小学部会長に汲田匡哉氏を選任。

◆熊本県協会(上野雅嗣会長)

業界発展のための活動、支部組織の強化などを事業計画に

①8月10日、②熊本市「熊本城ホール」、③全図協・宍戸亮太事務局次長。

図書教材業界

の発展のための事業活動、支部組織の強化、全図協事業への協力などを事業計画に盛り込む。

役員改選を行い、中学部会長に荒木隆一氏を選任。



熊本県協会

より良い学びができる教材づくりを
日本子どもたちのために……

ワーク・テスト・問題集・ドリル・資料集

正進社
SEISHINSHA

◆青森県協会（其田繁会長）

早期代金支払い文書の継続実施を承認

①8月17日、②弘前市「弘前パークホテル」。早期代金支払いのお願い文書事業継続実施を承認。支部活動の強化を事業計画に。

◆福岡県協会（吉原賢太郎会長）

総会後に創立七十周年記念式典を開催

①8月17日、②福岡市「八仙閣」、③全図協・宍戸亮太事務局次長。各支部からの活動報告や全図協事業を確認。会員規定の一部改定を承認。役員改選を行い、中学部会長に吉清浩雅氏を選任。

総会後に創立七十周年記念式典を行い、功労者表彰式と宍戸事務局次長による「業界を取り巻く現状」と題した講演会を開催。

◆佐賀県協会（前田信俊会長）

役員改選、新会長に柴田健彦氏

①8月18日、②武雄市「ホテル春慶屋」。キャッシュレス決済への対応について情報交換。

役員改選を行い、新会長に柴田健彦氏、小学部会長に木原英年氏、中学部会長に池田初一氏を選任。

◆福島県協会（加藤裕昭会長）

役員改選、新会長に阿部英紀氏

①8月20日、②郡山市「磐梯熱海温泉 栄楽館」、③日本標準・森田祐樹営業部マネージャー、全図協・渡部竜士専務理事。

来年度以降、社会貢献事業の予算の見直しをしていくことを確認。

総会前に渡部専務理事による「業界の課題と展望」と題した講演会を開催。

役員改選を行い、新会長兼中学部会長に阿部英紀氏、小学部会長に影山和孝氏を選任。

◆富山県協会（清沢伸之会長）

業界の諸課題について協議

①8月20日、②富山市「ボルファートとやま」、③学宝社・高橋政和営業部長。キャッシュレス決済への対応や学校でのFAX廃止の動向等について情報交換。

◆兵庫県協会（浪崎真会長）

役員改選、新会長に喜多雅吉氏

①8月22日、②姫路市「姫路商工会議所」、③学宝社・高橋政和営業部長。

小・中学部会を開催。キャッシュレス決済や学校でのFAX使用の見直しについて意見交換。

役員改選を行い、新会長に喜多雅吉氏、小学部会長に片山佳則氏を選任。

◆宮城県協会（高橋充会長）

協会運営の在り方について協議

①8月23日、②宮城郡「松島温泉 ホテル海風土」、③日本標準・森田祐樹営業部マネージャー。

会員数を増やす方策について協議し、継続検討していくことに。

◆北海道協会（三橋宣由会長）

役員改選、新会長に山城晋一氏

総会後に創立七十周年を祝う会を開催

①9月7日、②札幌市「ポールスター札幌」、③教育同人社・徳重弘樹取締役、秀学社・辻田吉平営業統括部長、全図協・細谷美明会長、渡部竜士専務理事。事業計画として、11月の研修会企画や読書感想文コンクール表彰への参加などを承認。

役員改選を行い、新会長に山城晋一氏、小学部会長に和島圭吾氏を選任。総会後には、創立七十周年を祝う会として、会員・従業員のほかOBが集い、ブロック小・中学担当出版社、全図協細谷会長、渡部専務理事を来賓に招き、協会運営功労者への感謝状贈呈や祝賀会を催した。



北海道協会

* * * * *

次の協会では書面開催の報告があり、事業計画・予算案などが承認されています。

▽和歌山県協会（田村洋一会長）

▽愛媛県協会（盛重浩一会長）…小学部会長に光永知正氏を選任。

都道府県協会の 総会をふり返って

今年の各協会の通常総会は、7月20日の東京都(小学)を皮切りに、北海道の9月7日まで、沖縄県を除く49協会で開催された。

◆47協会で開催

通常開催は47協会、活発な協議、意見交換が行われた。和歌山県、愛媛県では書面にて開催された。

◆出版社・事務局よりのべ44名が出席

各協会の総会に出版社と全図協事務局から出席した人数は、のべ44名に達する。昨年は53名であった。

また、担当出版社に出席を要請しなかったのは18協会。なお、事務局から出席したのは、北海道、山形県、福島県、千葉県、東京都(小学)、東京都中学、静岡県、三重県、京都府、奈良県、岡山県、福岡県、長崎県、熊本県の14協会である。

◆総会での主な協議事項

各協会ではここ数年、GIGAスクール構想による学校現場のICT化の動向などを中心に協議している。また、全図協事業やブロック小・中学部会長会議の取り組みの周知なども行われている。

そのほかに、キャッシュレス決済への対応、教師用書の取り扱い、地域社会貢献事業の実施、

2024年度都道府県協会総会 出席状況一覧

協会名	会員数(名)	委任含めた出席者数(名)	率(%)	実質出席者数(名)	率(%)	協会名	会員数(名)	委任含めた出席者数(名)	率(%)	実質出席者数(名)	率(%)
北海道	38	38	100	19	50	滋賀	13	12	92	7	54
青森	25	22	88	9	36	京都	22	22	100	16	73
岩手	19	19	100	14	74	奈良	11	11	100	9	82
秋田	16	16	100	10	63	大阪小	38	37	97	21	55
山形	20	20	100	18	90	大阪中	15	14	93	14	93
宮城	12	12	100	9	75	和歌山	20	書面開催			
福島	21	20	95	18	86	兵庫	61	59	97	30	49
茨城	39	39	100	16	41	岡山	24	23	96	14	58
栃木	31	31	100	21	68	広島	35	35	100	18	51
群馬	29	29	100	21	72	鳥取	10	9	90	8	80
埼玉	57	57	100	34	60	島根	18	18	100	11	61
千葉	51	44	86	28	55	山口	11	11	100	10	91
東京	57	56	98	39	68	香川	14	13	93	6	43
東京中	17	17	100	15	88	徳島	13	11	85	7	54
神奈川	30	30	100	30	100	愛媛	10	書面開催			
神奈川中	13	12	92	8	62	高知	9	9	100	9	100
山梨	15	15	100	12	80	福岡	57	57	100	32	56
静岡	19	19	100	12	63	佐賀	19	19	100	12	63
愛知	50	50	100	47	94	長崎	25	19	76	13	52
岐阜	23	23	100	15	65	熊本	47	40	85	24	51
三重	18	17	94	14	78	大分	23	18	78	14	61
長野	21	21	100	8	38	宮崎	21	21	100	18	86
新潟	29	24	83	20	69	鹿児島	38	23	61	14	37
富山	15	15	100	10	67	沖縄	3	—	—	—	—
石川	21	19	90	8	38						
福井	12	12	100	10	83	計	1,255	—	—	—	—

各都道府県協会の特徴ある活動 (10月15日現在)

協会名	活動内容
北海道	防犯ステッカー貼付事業実施(道教委・道警後援) 読書感想文コンクール表彰への参加 教職員名簿への広告
青森	小・中学校あて「早期代金お支払いのお願い」文書送付
岩手	
秋田	『地販地消』チラシと地元業者からの販売強化案内文配布
山形	
宮城	防犯ステッカー貼付事業実施 「教材フェスティバルin宮城」の開催
福島	防犯ステッカー貼付事業実施(県警後援) 県交通遺児奨学基金及びいのちの電話への寄付 『地販地消』チラシの配布
茨城	地区活動の活性化のための「地域会」の開催 青年部を中心とした「いばらきの会」の開催 協会ホームページの運営
栃木	若手社員親睦交流会の開催
群馬	防犯ステッカー貼付事業実施 懇親ソフトボール大会の開催 県教育振興会への寄付
埼玉	県協会ホームページの運営 防犯ステッカー添付事業実施 認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)の活動参加 埼玉県PTA連合会事業「親子のきずな 三行詩コンクール」への埼玉県図書教材協会賞の授与 協会ホームページからの会員証発行システムの運用 小規模対策支援事業の実施
千葉	防犯ステッカー貼付事業実施 県協会ホームページの運営 学校初任研等への参画 懇親ボウリング大会の開催 自主的な安全パトロールの実施 懇親ゴルフコンペの開催
東京	防犯ステッカー貼付事業実施(都と協力) 親睦ゴルフコンペの開催
東京中	出版社を交えての新年会の開催
神奈川	防犯ステッカー貼付事業実施
神奈川中	
山梨	防犯ステッカー貼付事業実施 山梨みどり奨学会への寄付 定期総会のほかに新年総会を開催
静岡	会員向け研修会の開催
愛知	防犯ステッカー貼付事業実施 NPO法人を通じての世界の子どもたちへの文具類等の物品提供事業 青年の会活動
岐阜	「県協会活動」の紹介と配布
三重	2年に一度、社員を対象にした研修会の開催
長野	会員向けメールリストの運用 防犯ステッカー貼付事業実施(県教委・県警後援) 代金早期支払い及び複写複製禁止文書の配布
新潟	定期総会のほかに新年総会の開催
富山	防犯ステッカー貼付事業実施(県警後援)
石川	防犯ステッカー貼付事業実施(県教委・県警と協力)
福井	防犯ステッカー貼付事業実施(県教委・県警と協力) 協会員共通名札作成
滋賀	滋賀県オリジナルReCo活動の実施
京都	防犯ステッカー貼付事業実施 京都府PTA協議会主催「親と子の三行詩カレンダー」への京都府図書教材協会賞の授与 京都府PTA協議会研究大会へのブース出展 協会員共通名札(従業員も含めて)の作成、配布
奈良	
大阪小	防犯ステッカー貼付事業実施 図書教材展示会の開催
大阪中	青年部活動 出版社協会員合同の新年会の実施 協会員有志による年1回の親睦会の実施 協会主催による教科書改訂期の出版社合同商品説明会の実施 防犯ステッカー貼付事業実施
和歌山	
兵庫	
岡山	
広島	防犯ステッカー貼付事業実施 教師のタマゴ向けセミナーの開催 ICT情報化コーディネータ3級研修会の開催 県協会要覧の作成 facebookを活用した県協会のホームページと会員グループページの運営 新学情情報交換会の開催 若手社員交流会の開催
鳥取	
島根	
山口	「教材フェスティバルin山口」の開催 小規模校対策事業
香川	防犯ステッカー貼付事業実施 著作権啓発運動(著作権Q&Aパンフレット全校無料配布・著作権講習会の開催等)
徳島	
愛媛	防犯ステッカー貼付事業実施(県教委・県警後援)
高知	
福岡	防犯ステッカー貼付事業実施 経営研修会の開催 日図協加盟在福出版社との意見交換会 著作権啓発運動(コピー防止ポスター配布)
佐賀	
長崎	日図協加盟中学出版社合同説明会の開催 著作権啓発シールの見本への貼付運動 懇親ボウリング大会の開催
熊本	防犯ステッカー貼付事業実施 小・中学校あて「早期集金のお願い」文書送付 協会員共通の名札プレート着用
大分	
宮崎	防犯ステッカー貼付事業実施
鹿児島	研修会「未来にはばたけ」の開催
沖縄	

研修会企画、ブロックの事業への協力、自主基準の再確認、協会運営などが話し合われた。
また、北海道と福岡県では総会後に協会創立七十周年記念式典が開かれ、功労者への表彰などが行われた。

◆講演会・研修会は9協会、一泊は7協会
総会と合わせて講演会・研修会を開いたのは次の9協会。

▽山形県：全図協・渡部竜土専務理事による「業界の課題と展望」と題した講演会、▽福島県

：全図協・渡部専務理事による「業界の課題と展望」と題した講演会、▽埼玉県：日向会長及び全図協・坂本泰祐元副会長による販売店におけるコンプライアンス(自主基準)に関する講演会、▽千葉県：上杉健司元会長による『協会「七十年」を振り返る』と題した講演会、▽静岡県：デジタル教材対策研修会、▽三重県：全図協・渡部専務理事による「業界の課題と展望」と題した講演会、▽京都府：全図協・渡部専務理事による「業界の課題と展望」と題した講演会、▽岡山県：東海大学・朝倉徹教授による「AI

時代の教育と教材…生成AIが社会実装されたときに求められる教材の姿とは？」と題した講演会、▽福岡県：全図協・六戸亮太事務局次長による「業界を取り巻く現状」と題した講演会。
また、総会の前後に懇親会を開いたのは33協会、このうち一泊懇親会は7協会(岩手県、宮城県、福島県、群馬県、石川県、佐賀県、長崎県)であった。

◆会長交代は14協会
今年は役員改選期ということもあり、多くの

協会です役員交替があった。新会長が就任したのは、北海道、秋田県、福島県、山梨県、三重県、長野県、福井県、滋賀県、京都府、奈良県、兵庫県、広島県、島根県、佐賀県の14協会であった。なお、埼玉県では会長(有識者)は留任しているが、代表理事(副会長)の交替があった。

【各都道府県協会の特徴ある活動について】
◎会員のスキルアップや会員間の親睦事業を行っている主な協会

▽茨城県:「地域会」の開催や青年部の活動、
▽群馬県:親睦ソフトボール大会、▽千葉県:懇親ボウリング大会、千葉の教育を語る会及びゴルフコンペ、▽東京都(小学):親睦ゴルフコンペ、▽東京都中学:出版社との合同新年会、▽静岡県:会員向け研修会、▽愛知県:青年の会活動、▽三重県:社員向け研修会、▽大阪府中学:出版社との合同新年会や青年部の活動、▽広島県:若手社員交流会、▽福岡県:経営研修会、▽長崎県:懇親ボウリング大会。

◎対外宣伝、社会貢献の一環として、教委など、関連団体との連携事業を行っている主な協会

▽北海道:読書感想文コンクール表彰への参加、▽福島県:県交通遺児奨学基金及びいのちの電話への寄付、▽群馬県:県教育振興会への寄付、▽埼玉県:JCVへの支援や埼玉県PTA連合会事業との連携、▽山梨県:山梨みどり奨学会への寄付、▽愛知県:世界の子どもたちへの文房具等の物品提供、▽京都府:京都府PTA協議会との連携、▽広島県:教師のタマゴ向けセミナー、▽山口県:教材フェスティバ

お知らせ

販売店向け教材Web発注システム 「図書教材ネット」

日本図書教材協会が運用している、全図協・会員販売店向けのWeb発注システム「図書教材ネット」が無償でご利用いただけます。

お申し込みは、随時受け付けておりますので、ご希望の方は、協会ホームページ内の右メニュー「会員の方へ」(要パスワード)よりお申し込みください。

全図協 販売管理システム 「全販システム」

- ▶「図書教材ネット」と連動して、発注データを自動取り込み
- ▶納品書や請求書、売上明細などを一瞬で作成
- ▶複雑な売上・入金処理も簡単に管理

＜お問い合わせ先＞

一般社団法人全国図書教材協議会・事務局
(TEL 03-3267-1041) までお願いします。

協会HP <https://nit.or.jp>
「会員の方へ」《パスワード ▶ kagura6 ▶》

第225・226号で詳しくご紹介しています。



〓 都道府県協会 会員だより 〓

☆代表者・商号・住所変更のあった会員☆
△代表者変更△

広島県: (有きのした(安芸郡)

新代表・木下芳記

広島県: (有上田書店(広島市)

新代表・上田健太郎

☆退会社☆

滋賀県: (株泰山堂(米原市)

ル、▽香川県:著作権啓発運動、▽福岡県:著作権啓発運動、▽長崎県:著作権啓発シールの見本への貼付運動。

編集後記

秋の訪れを少しずつ感じられる季節になるとともに、今年も残すところあと2カ月となり、あっという間に2024年が過ぎ去ろうとしています。

少し早いですが今年を振り返ってみると、元日に能登半島地震が発生し、販売店にも大きな被害が及びました。また、教育業界ではGIGAスクール構想第2期に向けてICT化が進むなか、改めて協会として子どもたちの学力の定着、向上のために、学校用教材の価値・役割を文科省をはじめ各方面に発信できたのではないのでしょうか。

今後も業界の価値を高められるように、協会として発信し続けます！ (S)